

ガリ版伝承館企画展2020

ガリ版の遠くまで展

11月7日(土)~12月6日(日) **会場** 東近江市立ガリ版伝承館
滋賀県東近江市蒲生岡本町663

開館 午前10時~午後4時30分 **【入館無料】** **休館日** 月・火曜日
(入館は午後4時まで)

〈主催〉 一般社団法人がもう夢工房 / 新ガリ版ネットワーク / 蒲生コミュニティセンター
〈後援〉 蒲生地区まちづくり協議会 / 蒲生岡本町自治会 / ガリ版芸術村
〈協力〉 山形謄写印刷資料館

ガリ版文化伝承シンポジウム

20世紀の日本社会を支えたガリ版 — 過去から未来へ —

ホールからオンラインを併用したシンポジウム
11月22日(日) **会場** 東近江市立あかね文化ホール大ホール
午後1時30分~3時50分 **【入場無料】** **定員** 200名(申込必要)

【基調講演】

● 演題 ● 「わたしとガリ版」 **田村紀雄氏** (東京経済大学名誉教授)

【全国の活動紹介】

新ガリ版ネットワーク(滋賀県) ◆ 神崎智子(東京都) ◆ 後藤卓也(山形県)
水口菜津子(京都府) ◆ 小松良子(福岡県) ◆ ほか

 **YouTube ライブ配信あり**

〈主催〉 ガリ版文化伝承シンポジウム実行委員会 [運営組織: 蒲生地区まちづくり協議会 / 一般社団法人がもう夢工房 / 新ガリ版ネットワーク] 〈後援〉 東近江市

謄写版ステップアップ講座 第1回 11/12(木)13時~11/13(金) 17時
第2回 11/26(木)13時~11/27(金) 17時

会場 ガリ版伝承館隣(旧岡村邸) **定員** 各5名 **参加費** 8,000円(宿泊費・食事代含む)

募集期間 10/1-10/31 (先着順) 詳細はHPまで **〈主催〉** 一般社団法人がもう夢工房

〈すべての催しのお問い合わせ、シンポジウム、講座のお申込み〉

事務局携帯 090-3268-3134 (田中) または、Email: gamo.yume@gmail.com まで

いずれの催しも一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団の助成を受けて開催します。

ガリ版伝承館企画展2020 ガリ版の道具たち展 11/7~12/6

1894(明治27)年、近江商人の堀井新治郎父子によって、簡易印刷器である謄写版(通称ガリ版)が発明・発売されました。謄写版は、明治(戦後)まで激動期を支えた日本人のコミュニケーションツールでした。大正期には謄写版の需要の拡大と共に原紙を始めとして、ヤスリ、鉄筆、ローラーなど、使い易さ、価格、技術面など、人々のニーズによって改良され進化されていきました。

今回は、40年に亘りガリ版文化を研究されている志村章子氏(元ガリ版ネットワーク主宰)が中心に収集した貴重な資料、館蔵品から選りすぐりの逸品を展示します。



- 主な出展器材のメーカー・オーダー店
- 堀井謄写堂 最新級謄写版原紙
 - 昭和謄写堂 (シヨウワ)
 - 林商店 (ホース)
 - 佐川工房
 - サカタ
 - 高尾(WANCO)
 - リソー (RISO)
 - フランス
 - デュプロ
 - リコー
 - 東亜商工
 - 女神
 - A. B. DICK 社
 - 伊東屋
 - 三越
 - 大気堂
 - 竹田謄写堂
 - 大津昭栄堂
 - 四国謄写堂
 - 高知謄写堂
 - 東京謄写堂
 - 日騰
 - 澤村紙業
 - シヤチハタ
 - 美濃紙業所
 - 古川紙工
 - 石川紙業
 - ライオン
 - 大東化工
 - アジア原紙
 - 内田洋行
 - 王冠ヤスリ工業
 - 大塚鋳工場 (キング)
 - 大島ヤスリ
 - 第一謄写堂
 - 須坂製作所 (SWS)
 - 森田製作所
 - 太陽
 - ほか
- (販売時の通称で表記 順不同)

ガリ版文化伝承シンポジウム 20世紀の日本社会を支えたガリ版 — 過去からライへ —

11/22 (日) 午後1時30分~3時50分
ホールからオンラインによるシンポジウム

◆◆◆ 基調講演 ◆◆◆
演題 東京経済大学名誉教授 『わたしとガリ版』 田村紀雄氏

◆◆◆ 全国の活動紹介 ◆◆◆
◆新ガリ版ネットワーク(滋賀県)◆神崎智子(東京都)
◆後藤卓也(山形県)◆水口菜津子(京都府)◆小松良子(福岡県)◆ほか

YouTube ライブ同時配信

がもう夢工房 または 蒲生地区HP
<https://www.gamoyume.org/>

神崎智子 かんざきともこ
アトリエ10-48主宰
版画家

2006年、京都精華大学芸術学部版画専攻を卒業後、本格的に創作活動を開始。謄写版を用いた版画制作をメインに、国内外で多数作品を発表。美術館などワークショップを各地で開催。著作『10-48-謄写版のこれまで・これから』(2019)刊行。



2009年京都市立芸術大学美術研究科ビジュアルデザイン科修了。在学中にガリ版と出会い、現代のアートとしての可能性を探求の過程をガリバントラベラーと名付け、京都を拠点に各地で展覧会やワークショップなど、ジャンルを超え活動。

水口菜津子 みずぐちなつこ
アーティスト



謄写版ステップアップ講座

講師 助田篤郎 すけだあつお
大阪謄写館代表 孔版画家

謄写版(ガリ版) 版画の原理について学び、多色刷り、文字、つぶし、高度な製版技術習得、ミニコミ誌制作など、ご自身の習いたい内容に合わせて講師がマンツーマンで指導いたします。



1954年、福井県鯖江市生まれ。地元の高校を卒業後、シルクスクリーン印刷発祥の地(岐阜県郡上八幡)にて基礎技術を学ぶ。20才のとき、インド放浪の旅に出る。帰国後、饅頭の摺師兄、憲亮の所で仕事としてのシルクスクリーンに携わる。1980年、結婚を機に父、茂蔵の謄写印刷所(大阪謄写館)を手伝うこととなる。以後、父と共に野の花孔版画を制作。現在は謄写印刷を中心に個人の私家本、句集や歌集、あるいは自分史などを手掛け、孔版画制作もつづけている。

開催日時
第1回 11/12(木) 13時-11/13(金) 17時
第2回 11/26(木) 13時-11/27(金) 17時
場所 ガリ版伝承館隣(旧岡村邸)
定員 各5名 参加費 8,000円
(宿泊費・食事代含む)
募集期間 10/1-10/31(先着順) 詳細はHPにて

田村紀雄 たむらのりお
写真 黒川創

社会学者、ノンフィクション作家。1934年群馬県生まれ。法政大学社会学部卒業。雑誌「思想の科学」等に執筆、1965年、東京大学新聞研究所助手。その後、桃山学院大学(コミュニケーション論担当)を経て、1975年、東京経済大学へ。1995年、同大学に日本最初のコミュニケーション学部創設。2005年、定年退職、名誉教授に。著書としては、『鉱毒農民物語』(朝日新聞社、1975年)、『ガリ版文化史 手づくりメディアの物語』(志村章子と共編著、新宿書房、1985年)、『自前のメディアをもとめて』(SURE、2020年)等多数。現在も「等身大のメディアと人間」等のテーマで執筆中。

後藤卓也 ごとうたくや
山形謄写印刷資料館館長
中央印刷株式会社代表取締役
(一社)日本グラフィックサービス
工業会山形県支部長

父、義樹氏とともに、1996年、社内に資料館、1999年、山形市内に常設展示館を設立。収蔵数は1万2千点以上で日本最大のコレクション総数。著書『温孔知新 素晴らしき謄写印刷の世界』(阿古耶書房・2020年)刊行。2020年、謄写印刷保存運動に対して日本印刷業連合会印刷振興賞受賞。



ガリ版を知らない大学生達にガリ版文化を伝えるため、2004年にガリ版研究会を設立。指導者はプロのガリ版屋、岡部和慶氏(2008年ガリ版で「北九州市技の達人」認定)。北九州でガリ版技術の勉強会、展示会、ワークショップを実施している。

小松良子 こまつよしこ
ガリ版研究会代表
新ガリ版ネットワーク九州支部長



東近江市 ガリ版伝承館
〒529-1521 滋賀県東近江市蒲生岡本町 663
●公共交通ご利用の方は
JR 東海道近江八幡駅下車、南口より、近江鉄道バス(日八線)「ガリ版伝承館前」下車すぐ
●車でお越しの場合は
名神高速道・蒲生 S.I.C.(ETC 専)より約10分・国道8号線・近江八幡六枚橋交差点より約20分(県道14→41号経由)

東近江市 あかね文化ホール
〒529-1531 滋賀県東近江市子川原町 461-1
●公共交通ご利用の方は
JR 東海道近江八幡駅下車、南口より、近江鉄道バス(長峰線)「蒲生支所前」下車すぐ。近江鉄道バス(日八線)「市子殿」徒歩約10分。
●車でお越しの場合は
名神高速道・八日市 I.C. より国道421号線より約13分

お問合せ・お申込み 《事務局携帯》090-3268-3134(田中) 《E-mail》gamo.yume@gmail.com

